



「第4回 (仮称) マンガの聖地としまミュージアム展示・建築設計検討会議」の報告

平成29年12月21日、豊島区役所において、第4回(仮称)マンガの聖地としまミュージアム展示・建築設計検討会議が開催されました。高野区長ほか、里中満智子座長をはじめとした委員15名が参加しました。



高野区長 挨拶

11月13日の地元説明会には参加できなかったのですが、地域の方々には強い関心があると同時に、どんなものができるのかと不安もいっぱいお持ちのようで、大変厳しいご意見もあったと聞きました。

12月20日、改めて椎名町小学校で説明会を開催いたしました。私が前面に出て、地域の皆様方のご不安に対して明確にお答えしたつもりです。出席者は48名、としま南長崎トキワ荘協働プロジェクト協議会や本検討会議の委員の方々も含め、大勢ご出席いただきました。私は、この場所にマンガ文化を残さなければいけないという思いを皆様にお伝えしました。まだまだ、ご理解、ご協力をいただかなければいけない部分もありますが、説明会の最後に出席のみなさんに拍手をしていただき、私の説明を十分理解していただいたと思えました。この検討会議の皆様がご熱心に検討していただいたことが、地元のみなさんに伝わったのではないかと思います。

これからも誠心誠意、丁寧に説明しながら、トキワ荘とその周辺エリアも含めてマンガ文化の中心となる場所として、次の世代に残せるよう、大変大きな価値を持つ仕事をしていきたいと思っています。

議事

(1) 展示基本設計

事務局より、再現展示の考え方、常設展示室・回遊情報コーナーの整備概要、サイン・情報提供の考え方を説明した。

- ①現時点で、居室の再現展示にご了承いただいているのは、水野英子先生、よこたたくお先生、山内ジョージ先生の3名であるため、忠実な再現を行う居室は3室とし、その他の居室では、マンガ家やその作品を紹介するほか、関連する記念館等の紹介も行う。さらに、将来的に再現にご協力いただけるよう、今後もプロダクション等との協議を行う。

- ②常設展示室として、2階の階段上の部屋と、マンガ家が住んでいなかった21号室を利用する。
- ③1階の回遊情報コーナーでは、地域に関する情報を発信するほか、書架を設けマンガを閲覧できるコーナーとしても整備する。
- ④安全上、設置が義務づけられている誘導標識・誘導灯を設置するほか、再現展示部分ではサイン等はできる限り設置せず、タブレット等の情報端末による情報提供を行う。

主な意見

- ・再現展示室や回遊情報コーナーでは、デジタル技術を生かしたり4K映像等も取り入れた演出を行っていくと良いのではないかと。
- ・2階の居室を使って、マンガ家になってマンガを書いている気分になれる「なりきり部屋」を設置すべき。室内には、投稿原稿風の描きかけのマンガを置くなどして、雰囲気づくりを行ってはどうか。
- ・来館者に撮影してもらって楽しんでもらう、発信してもらいやすいことが大事。撮影しやすくなるような工夫が必要。
- ・プロダクション任せですべての部屋の再現展示を目指すのではなく、来館者に楽しんでもらえるよう、コンセプトを考え直した方が良いのではないかと。
- ・音による演出も重要である。その時代の雰囲気や伝えられるよう、当時の流行歌や世相を示すラジオ放送を流してはどうか。

(2) その他の報告

事務局より、整備に関わる以下の取り組みについて、概要を報告した。

- ①(仮称)マンガの聖地としまミュージアム整備に伴う南長崎花咲公園活用にかかる意見交換会
- ・開催概要：11月13日 19:30-21:00、区民ひろば富士見台
 - ・主な意見：記念樹の移植、工事期間中の公園利用を確保してほしい、地元に対する情報発信の強化、開館後の地域との関わりの継続等
- ②(仮称)マンガの聖地としまミュージアム整備にかかる地域説明会
- ・開催概要：12月20日 19:30-21:20、椎名町小学校
 - ・主な意見：アミューズメント性の重視、開館までの機運醸成の必要性、公園利用者と来館者動線の調整、保育園の遊び場としての機能の保全等
- ③再現施設色合い検討会
- ・開催概要：11月9日、南長崎マンガステーション
 - ・検討項目：瓦・外壁仕上げの素材や色合いの確認等